



年度末あいさつ

【学校長 中垣内 隆夫より】

いつも温かいご支援をいただき、ありがとうございます。3月1日（火）に卒業証書授与式を行い、254名が本校を巣立ちました。進学するため一人暮らしをはじめの人、あるいは地元に残って就職する人、進路は多様ですが、前途に幸多かれと願わずにはおれません。順風ばかりではないでしょうが、それぞれ生まれ育った故郷と本校での3年間に誇りを持ち、力強くそして「しなやか」であってほしいと願います。H27年度、本校は県から「ふるさと教育表彰」の特別賞をいただきました。「地域に学び、地域と育ち、地域に貢献する」学校としての取り組みが高く評価され、大変嬉しく思っております。どうか、今後ともよろしくお願いいたします。



【生徒会長 田口 直幹より】

私たち生徒会では、学校や地域に貢献できるよう、さまざまな活動をしてきました。H27年度は、学校で開かれる行事の運営や募金活動、警察の方と連携した振り込め詐欺防止のチラシ配り、萩原小学校児童の皆さんとの「笑顔でハイタッチ挨拶運動」などを行いました。9月に開かれた文化祭では、自分たちだけではなく、来ていただいた地域の方々にも楽しんでいただけるよう工夫して計画を立てました。また、新たな活動として、選挙権が18歳以上に引き下げられることを受け、生徒の意識を高めるために、実際に市議会を傍聴し、様子や感想を校内新聞で伝えることができました。H28年度も、引き続き学校や地域に貢献できる活動をしていきたいと考えています。



最近のトピックス

▼国公立大学合格状況（3月10日現在）

＜国立大学＞

岐阜大2名、富山大4名、静岡大1名、新潟大1名、山梨大1名、和歌山大1名、山形大1名

＜公立大学＞

都留文科大1名、長野県看護大1名、山梨県立大1名、岡山県立大1名、長岡造形大3名

3月10日現在18名が国公立大学への合格が叶いました。H26年度は10名で、昨年度比にして2倍近くの伸びがありました。3年間の一人ひとりの努力が、実を結んだ結果であると思います。3月も中旬ですが、まだ後期試験の結果を待つ生徒もおります。最後まで頑張り続ける姿は頼もしく、このひたむきな姿は在校生に受け継がれていくと信じています。

▼ 県教育長表彰

國學院大學が主催する「地域の伝承に学ぶ」コンテストで、総合学科二年生の作品の最優秀賞受賞と、第7回観光プランコンテスト準グランプリの受賞をうけて、本校が県教育長表彰をいただきました。「地域研究」「観光地理」の授業において、下呂をフィールドに調査、研究を重ねた成果です。県教育長賞は、部活動などの優秀な成績を収めた学校に贈られるものですが、今回、下呂での活動が評価されたことは、大変うれしいことでした。ご協力いただいた地域の方々に、感謝いたします。



▼ ふるさと教育賞 郷土愛あふれる学校賞

本校の地域での取り組みが「ふるさと教育賞」を受賞しました。今年度は創作昔話、観光プラン考案、天領朝市をはじめ、新たにスイートコーン栽培から商品開発にも取り組みました。また、今回は、ふるさと教育賞を5回以上受賞した学校に送られる特別賞もいただくことができ、2月18日(木)に岐阜市で開かれた「ふるさと教育フェスタ」で本校の取り組みを発表しました。「地域に学び、地域と育ち、地域に貢献する」ことを活動の柱とした本校の取り組みが評価されたことで、下呂という地域が本校のフィールドであることにあらためて気づき、感謝する機会となりました。



▼ 卒業式

小雪舞うなか、3月1日(火)に卒業証書授与式が挙行され、3年生254名が晴れて卒業の日を迎えました。各科の代表が学校長から卒業証書を手渡され、卒業生代表 奥田一輝君(萩原北中卒)が、保護者への感謝とともに、後輩には仲間と全力で取り組み後悔のないようにしてほしいと熱く語りかけました。卒業生の皆さんが、それぞれの道で活躍することを期待しています。



▼ 三送会(生徒会主催)

2月10日(木)に三年生を送る会を行いました。クラス対抗レクリエーション大会では、3年間ともに過ごした仲間との絆を見ることができました。毎年恒例となっている職員劇。普段とは違う先生方の姿を見ることができこの劇は、生徒たちが一番楽しみにしていました。笑いあり、涙ありとなった劇は、とても盛り上がりました。この他、お世話になった先生からのビデオメッセージや3年間をまとめたスライド写真の上映もあり、高校生活を振り返るとともに、新しい生活への気持ちを新たに作る時間となったのではないかと思います。



各学科行事

▼ 学習成果発表会(総合学科)

総合学科の3つの系列(言語・文化、観光産業、健康福祉)の3年間の学習成果を発表しました。当日は、保護者をはじめ、これまで生徒がお世話になった地域の方々にもお越しいただき、今までの感謝の気持ちも込めた発表会としました。これまでの学習成果のまとめの他にも、生徒の目線で考えた、下呂への提言など、生徒が工夫を凝らした発表会となりました。多くの方々にお越しいただき、ありがとうございました。



▼ 学習成果発表会(ビジネス会計科)

ビジネス会計科3年生がH27年度に取り組んだ南飛騨コーンの報告会をおこないました。当日はビジネス会計科の1・2年生、お世話になったの方々にもお越しいただきました。コーンの栽培、収穫、販売、商品開発に至るまでの過程で得た苦労や学び、喜びなどを発表し、お世話になったの方々へ感謝の気持ちを伝えました。又1・2年生にとっても3年生になってからの取り組みを具体的にイメージすることができ、実りある時間となりました。



▼ 学習成果発表会（経営情報科）

星雲会館にて経営情報科課題研究発表会を開催しました。情報の技術や知識を専門に学んだ3年生が高校生活の集大成として、【地域活性化に役立つ作品】や【情報モラルを学習するための支援教材開発】等をテーマとして調査研究に励み、ソフトやアニメーション制作をしました。各生徒が7分間の研究成果プレゼンテーションを行いました。保護者や地域の方々に来場頂き、生徒の励みとなりました。

なお、【情報モラル】の出前授業を実施しますので、ご依頼をお待ちしております。



▼ 主権者教育

有権者年齢が「18歳以上」に引き下げられたことを受け、卒業を控えた3年生を対象に主権者教育を行いました。架空の部活動ごとに予算を議論し合うゲームや、公職選挙法に関する〇×クイズを行いました。生徒は活動を通して、自分の意見に筋道を立てて主張する力、相手の意見を聞く力、話し合いで合意を形成する力の必要性を実感することができました。今後も日々の授業を中心に、政治的関心を高め、自らの意見を持ち、主体的に行動できる主権者教育を行っていきます。



▼ 租税教室（ビジネス会計科）

ビジネス会計科生徒が、税務当局や税理士会の方々から税について学び、母校での租税教室に講師役として下呂市内・市外あわせて5校の中学校に伺いました。授業では、高校生の税に関する説明の後、グループに高校生が一人ずつ入り、「自分たちが納得できる税」の在り方について討議し、その結果を発表してもらいました。

講師役を務めた生徒は、「ちゃんと教えられるか不安でしたが、中学生の皆さんに意見を持ってもらえてよかったです。」「わかりやすかったと感想を言ってもらえて、ビジネス会計科として誇りに思え、やってよかったです。」などがあり、とても貴重な経験となりました。



▼ 地元企業見学会（2年生 総合学科・商業科）

今年度の新たな企画として、2月18日（木）に、下呂市役所の協力のもと、地元企業について知り、様々な職種を理解することを目的として、地元企業見学会を行いました。総合学科、商業科の生徒が参加し、各クラス3企業ずつ、延べ12の企業を見学させていただきました。生徒からは、「地元こんな優良企業があるとは知らなかった。」「工場や現場を見学して、来年から働くイメージができた。」「県外で就職するつもりだったけど、地元就職も考えてみたい。」という声も聞かれ、進路に向けて大変有意義な見学会となりました。



部活動

▼ 陸上競技部 中日西濃駅伝 高校の部 男子第2位

これまで1年間取り組んできた仲間と共に襷をつなぐ最後の駅伝となりました。3区中継時点ではトップに立つなど健闘し、愛知高校や中京大附中京高校など県外強豪とデッドヒートを展開、アンカーが一人抜き2位でゴールしました。今後は新チームとして都大路を目指していきます。

- 1区(6.7 km) 安田 響 君(1年:小坂中卒)
- 2区(8.4 km) 殿地 琢朗 君(1年:清見中卒)
- 3区(3.3 km) 切手 豪海 君(1年:久々野中卒)
- 4区(8.0 km) 塚中 栄都 君(3年:萩原南中卒)
- 5区(4.9 km) 裁 聖七 君(1年:萩原南中卒)
- 6区(3.6 km) 鍵谷 希 君(2年:中山中卒)
- 7区(9.3 km) 田立 勇太 君(3年:小坂中卒)



▼ 弓道部 県新人大会 女子団体第2位

2月6日(木)に県新人大会がおこなわれ、私たち弓道部は、女子団体で第2位という好成績を収めることができました。この大会は、私たちにとって自信をつけることができた試合であったと同時に、チームにも個人についても課題のみつかった試合でもありました。これからの練習では、みつかった課題を徹底して直し、チームとしても個人としても、今よりももっと強くなっていきます。そして、全国インターハイ出場という目標を、必ず達成します。これからも、応援よろしくをお願いします。【二村茉莉咲さん(2年:下呂中卒)】



▼ ビジネスライセンス部 県新人大会正確賞受賞

2月6日(木)に行われた県新人戦で、私たちは初めて正確賞を受賞しました。正確賞をとるためには、10分間に一定の文字数を超え、ミスなく打つことが必要です。練習の時は、たくさん打つことを意識しすぎて正確に打つことができませんでしたが、決して諦めず練習に練習を重ねて大会に挑みました。競技中は他校の選手のキーを打つ音に圧倒されました。しかし、正確に打つという目標を意識して打ち続けた結果、閉会式、正確賞の部で私たちの名前が呼ばれました。念願の受賞だったので、とても嬉しかったです。パソコンで文章を速く打つことや正確に打つことは、社会に出て役に立つことなので、毎日欠かさず練習をして、将来の目標実現につなげていきたいと思っています。

【牛丸実弥さん(2年:宮中卒) 朽洞菜さん(2年:馬瀬中卒)】



▼ 吹奏楽部 定期演奏会

2月21日(日)に下呂交流会館において、第7回定期演奏会を行いました。今年は「世界の音楽」というテーマで、ポピュラー音楽、ラテン音楽、ジャズ、日本民謡など、様々なジャンルの曲を演奏し、多くの方に楽しんでいただけました。現在、吹奏楽部は、「演奏している自分たちも聴いている人たちも楽しめる演奏」を目標に取り組んでいます。今回の演奏会では、その目標に一つ近づくことができたのではないかと思います。また、演奏会を終えて、部員一人ひとりやバンド全体として、次の課題が見えてきました。今後は今以上に音楽を楽しみ、多くの人たちと音楽の楽しさを共有できるように取り組んでいきたいと思っています。

